

Zoom Up

災害による停電時も避難所の電源を確保 蓄電池を荻野運動公園に設置

大規模災害発生時の避難所となる荻野運動公園に、非常用電源設備を整備しました。停電しても電気が使え、照明の点灯やスマートフォンの充電などが可能に。災害時も安心して過ごせるよう、避難所の機能強化に取り組んでいます。

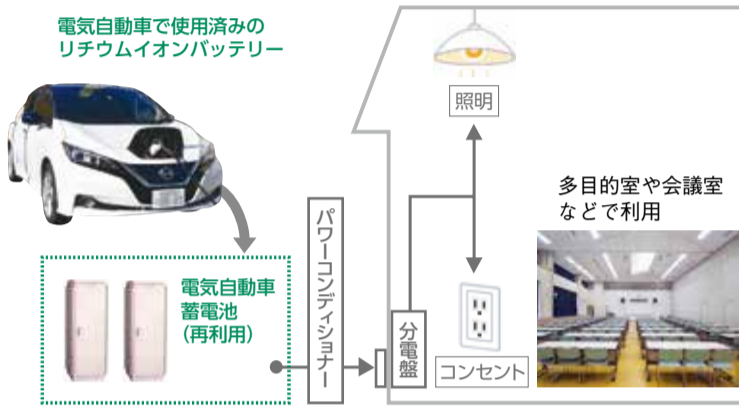
昨今、気候変動による大規模な自然災害が増え、都心南部直下地震などの発生も予測されています。加えて、これからのまちづくりには大雨や地震の対策だけでなく、環境問題にも配慮した持続可能なまちの在り方を考えることが求められています。

避難所に非常用電源を設置

市では、災害時には市内最大規模の避難所となる荻野運動公園の機能をさ



設置された蓄電池（左・中央）とパワーコンディショナー



非常用電源の使用イメージ

らに強化しました。停電しても避難所や物資集積拠点施設などの役目を果たせるよう、非常用電源設備を取り付けました。

新たに設置したのは、蓄電池とその電力を施設内で使えるよう変換するパワーコンディショナーです。設置により、多目的室や会議室などに電力が供給できるようになりました。停電時も照明やテレビが使えるようになった他、情報収集に欠かせないスマートフォンなどの充電など、約3日分の電力を

賄えるため、より安心して過ごせます。設置した蓄電池は、電気自動車の使用済みリチウムイオンバッテリーを再利用したものです。再利用は、電池を解体して資源にするリサイクルに比べかかる費用も少なく、環境への負担も軽くなります。

より安心して暮らせるまちに

市では、さらに災害対応力を高めるため、荻野運動公園に太陽光発電設備を設置。公民館には、電気自動車の電力を供給できる非常用電源の整備を進めています。また、新型コロナウイルス感染症が流行する中でも災害時に避難所で安心して過ごせるよう、アル

防災行政無線の情報を確実に

防災ラジオを有償配布



屋内でも防災行政無線の情報を聞けるラジオを有償配布します。

- 《対象》 市内在住の方・事業所・団体
- 《費用》 1台4000円
- 《配布予定日》 11月以降

直接、電話またはファクス、Eメールにて住所、氏名、電話番号、購入台数、受け取り場所（危機管理課または希望する公民館）を書き、4月28日までに危機管理課 ☎223-0173・✉0900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

防災ラジオのポイント

- ①自動録音機能で最新の放送を繰り返し再生
- ②AM・FM利用可。緊急時は市の情報を優先
- ③市内どこでも受信が可能

☎危機管理課 ☎225-2190

コール消毒液や室内用テントなどを整備しました。今後も、いつ起きてもおかしくない災害に備え、災害に強いまちづくりを進めていきます。

☎危機管理課 ☎225-2190

有事の際も落ち着いた行動を

日頃から災害に備えて

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害時の備えを進めましょう。

■災害時の情報の入手手段

- ・あつぎメールマガジンの「防災行政無線情報」
- ・tvkデータ放送（テレビの3チャンネルでリモコンの「d」ボタンを押し、「防災・安全情報」を選択）
- ・テレホンサービス（0180-994422※有料）
- ・ラジオ FMヨコハマ：84.7MHz
FMカオン：84.2MHz

■防災ポケットブック

地震や風水害など災害ごとの対策や、非常持ち出し品などを掲載しています。

《配布場所》 危機管理課や公民館など



インターネットでも閲覧可



昨年8月の大雨で増水した玉川

■ハザードマップ

地域の自然災害リスクを知り、適切な避難ルートの確認や、避難場所などをチェックしましょう。



警戒レベル4「避難指示」で必ず避難

警戒レベル	避難情報など	対応
5	緊急安全確保	災害時の避難情報が昨年、改定されました。
4	避難指示	警戒レベル4「避難指示」で避難しましょう。
3	高齢者等避難	
2	大雨・洪水注意報	
1	早期注意情報	

ブロック塀の倒壊を未然に防止

危険ブロック塀等 防災工事補助金

地震などでのブロック塀の倒壊を防ぐ、撤去や安全な工作物などへの改善工事を補助します。

《対象》 個人が所有する危険なブロック塀で撤去や撤去後安全な工作物などを設置する工事など

《補助額》 工事費の4分の3（上限30万円）
※撤去費は別途算出

☎申請書に位置図など必要書類を添え、危機管理課へ。詳しくは市HPに掲載。

☎危機管理課 ☎225-2190

